



西川中学校通信

発行日 令和6年12月24日(火) 第10号
ホームページ <http://www.nishichu.city-niigata.ed.jp>
〒959-0422 新潟市西蒲区曾根1828番地3 Tel 0256-88-3148

1年生	63名
2年生	89名
3年生	66名
全校	218名

Share Smile

～ みんなで笑顔を共有しよう ～

生徒会顧問 高橋 翔

生徒会では、誰もが過ごしやすい学校を目指して、MHS (Making Happy School) 活動に取り組んでいます。今年度は、より一層「みんなで笑顔を共有する」ことを大切にしようという思いを込めて、「Share Smile」をスローガンにしました。このスローガンには、笑顔を共有するのは、学級や学年だけでなく、他学年、さらに他校や地域へと幅広く交流の輪を広げ、多くの人と共に笑顔になりたい、地域全体の活性化にも貢献したいという思いが込められています。

4・5月には、各学年、各学級で話し合い、よりよい学校、誰もが過ごしやすい学校、笑顔が共有できる学校にしていくための行動目標をも決めました。6月にはMHS集会を行い、各学年・学級で話し合ったことを発表しました。「思いやりのもてる学年にする」「言葉遣いを丁寧にする」「時間を守って行動する」「授業と休み時間のメリハリをつける」「お互いに注意し合う」などの行動目標が発表されました。これらの目標に向かって取り組むことで、みんなで心をつなげて、よりよい学校、笑顔が共有できる学校を目指しました。

5月には、生徒会本部が企画した「西中クイズラリー」を行いました。これは、他学年との交流を深めることを目的とし、1～3年生の混合グループを編成して、グループごとに校内にある様々なクイズを探し、答えていくという活動です。クイズの中には、西川中学校の歴史や地域の歴史・文化に関するものもあり、普段接することの少ない他学年との交流を深めるとともに、西川地域の歴史や文化に関心や愛着をもつきっかけになりました。

11月には、各学年・学級で「MHS中間振り返り」を行い、初めに立てた目標が達成できているか、新たな課題やさらに取り組むべきことは何かを考えました。ここで話し合われたことを意識しながら学校生活を送り、1月には「MHS年間振り返り」の活動を行います。

1月には、第2回生徒総会も行われます。生徒会活動全体の今年度の反省とともに、来年度に向けての提案を確認します。来年度に向けた新たな取り組みとして「生徒会歌」を復活させる企画も考えられています。生徒会役員は新たなメンバーに引き継がれますが、これからも、西川中学校から西川地域へと、幅広く交流の輪を広げ、「みんなで笑顔を共有する」ことを目指して活動が行われていくことを期待しています。



MHS集会 (R6.6.3)



西中クイズラリー (R6.5.7)



MHS中間振り返り (R6.11.25)

新生徒会本部のみなさん

生徒会役員選挙（11月6日(水) 告示、11月19日(火)～25日(月) 選挙活動期間、11月27日(水) 立会演説会）が行われ、新生徒会本部役員が決まりました。12月24日(火)には認証式が行われます。

生徒会長

この度、生徒会長を務めさせていただくことになりました。

私は、「みんなを笑顔にする・ここで過ごせて良かったと思える学校」を創っていきたくて考えています。公約である「学校レクリエーションの活性化」「創立50周年企画」を通して、全校生徒が学校が楽しいと感じられる活動を実施したいと思っています。1年間、よろしくお願いします。

生徒会副会長

新生徒会副会長になりました。

私は、全校レクリエーションの実施や、目安箱の活用で、全校のみなさんが、少しでも学校に行くことが楽しみになり、充実した生活を送れるような学校創りを目指します。まだまだ分からないことも多くありますが、自分なりに副会長としてできることに精一杯取り組んでいきたいと思っています。1年間、よろしくお願いします。

生徒会副会長

新生徒会副会長になりました。

私は、創立50周年という節目の年を盛り上げていくことを目標にしています。そのために全校生徒で楽しみ、協力することができる「全校レクリエーション」を企画します。積極的に全校のみなさんの意見を取り入れ、反映させたいと思います。生徒会本部一同で一生懸命に活動していきますので、ご協力をよろしくお願いします。

生徒会書記長

新生徒会書記長になりました。

私は、全校生徒の誰もが楽しく通える西川中学校を創りたいと考えています。そのために、同学年はもちろん、他学年とも積極的に交流する機会を増やしたいと思っています。また、行事がない時期でも常に賑やかな雰囲気作りに励んでいきたいと思っています。全校生徒が、より楽しく、より充実した学校生活を送れるようにしていきたいです。1年間、よろしくお願いします。

中学生の税についての作文

国税庁及び全国納税貯蓄組合連合会が募集した「中学生の税についての作文」に、西川中学校からも多数応募し、多く入賞がありました。

新潟県納税貯蓄組合総連合会 優秀賞
新潟県新潟地域振興局長賞
西蒲地区租税教育推進協議会 会長賞
納税貯蓄組合 西川商工会 会長賞

「日常生活をつくる税金」
「税が見つけた私の目標」
「税の大切さについて感じたこと」
「税の必要性」

新潟県納税貯蓄組合総連合会 優秀賞

日常生活をつくる税金

「税」と言われて、私が真っ先に思いついたものは消費税です。なぜなら、私たち子供もよく払う身近なものだからです。先日、学校で租税教室が開かれ、税の種類や税の大切さを学びました。その際に私は自分のこれまでの生活を振り返りました。そうすると、私たちの生活は様々な場面で税に助けられているということを実感することができました。

私が小学校1年生の夏に祖父母の家の小屋が燃える火事が起こりました。私はあまり覚えていないのだけれど、家族から当時の話を聞くと、私たちが駆け付けた頃にはもう消防隊の方々が消火を始めていて、その後無事に消火されたそうです。消火が終わった後も、消防隊の方々は火事の原因の聞き取りや、交代で火災現場の見張りを何日も行っていました。火災はとても恐ろしく、祖父母は動揺していたけれど、消防隊のおかげで、日常生活を取り戻すことができたことと聞きました。私もうっすらとした記憶だけれど、メラメラと燃え上がる炎の怖さを覚えています。

当時は幼くて気づかなかっただけで、今思うと消防隊の方々に私たちはお金を払っていないのに、なぜそのような大変な作業をしてくれたのでしょうか。私は消防隊の費用はどこから出ているのか気になりました。

そこで私は、消防隊と税がどのように関係しているのか、インターネットで調べてみました。消防隊の活動費用は主に国や地方自治体に集められた税で成り立っています。国民が支払った税金で消防隊の活動費用が賄われています。

以前、消費税が8パーセントから10パーセントになったとき、支払う金額が高くなることに不満を抱いている人も多くいたでしょう。しかし、その税金が私たちの生活に役立っているのならば、私は税金を払うことはとても重要なことだと思います。もし、税金が足りなくなったら、消防隊などの公共サービスを維持することが難しくなり、安心した日常生活を送ることができなくなると考えられます。だから私は、この日常生活が当たり前ではなく、税金で支えられている面が大きいということを実感して生活していきたいです。